

イチゴ「ゆうやけベリー」の基肥窒素量

福島県農業総合センター 作物園芸部 野菜科

1 部門名

野菜－イチゴ－施肥法

2 担当者名

成田元樹、横田祐未、柳内柚香

3 要旨

本県育成イチゴ品種「ゆうやけベリー」の土耕栽培について、適正な基肥窒素量は明らかにされていない。そこで基肥窒素量を変えて収量を比較した結果、基肥窒素量は 13kg/10a 程度が適していると考えられた。

(1) 可販果収量は 13kg/10a が高い傾向にあった (図 1、2)。

(2) 基肥は N:P₂O₅:K₂O=(8, 10, 13, 16, 19):20:16(kg/10a)となるように施用し、追肥は 12 月中旬～5 月下旬にかけて 10 日に 1 回、トータルで窒素成分 1.2～1.3kg/10a 施用した。作付け前の土壌 EC は 0.1dS/m であった。

(3) 基肥窒素は緩効性肥料 (商品名: マイクロロングトータル 391-100) を使用した。

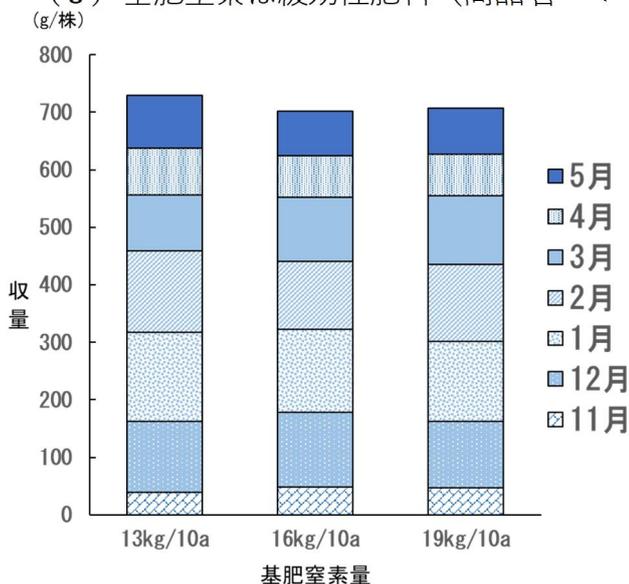


図 1 基肥窒素量別の月別可販果収量 (2022 年)

※2022 年 9 月 14 日に定植、株間 25cm、畝幅 70cm、
条間 10cm で 2 条千鳥植え、727 株/a

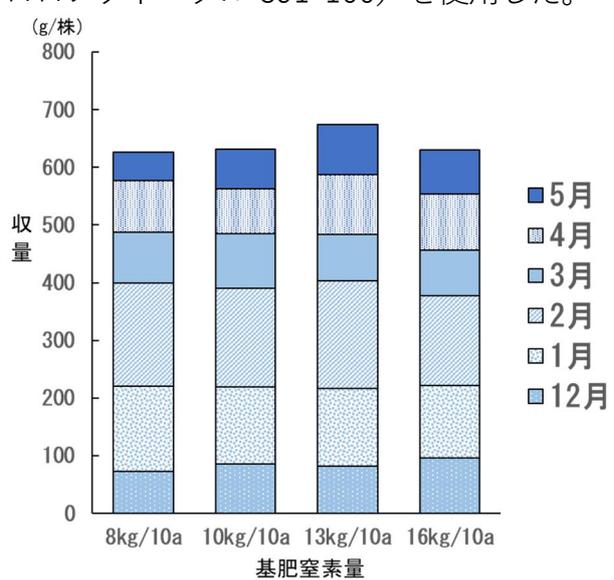


図 2 基肥窒素量別の月別可販果収量 (2023 年)

※2023 年 9 月 21 日に定植、株間 25cm、畝幅 70cm、
条間 10cm で 2 条千鳥植え、727 株/a

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 令和 3～7 年度

(2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル野菜・花き新品種の育成〔福島県産農産物競争力強化事業(研究)〕

5 主な参考文献・資料

なし